

砕氷船「しらせ」が持ち帰った 「南極の氷」

令和5年6月15日掲載

今日は海上自衛隊の方より、「南極の氷」のプレゼントをいただきました。2名の隊員さんと、まいちくんが登場、まいちくんのかわいらしい姿と手を振るしぐさに子ども達は大喜び！

隊員さんより、砕氷船は夏に、南極の昭和基地に、燃料や食料などを届ける役割と教えていただきました。氷点下の世界に、雨が降ることはなく雪が降り積もり、南極大陸には4,000mほど降り積もった雪が氷になっているのだそうです。時には、3mの厚さの氷を砕きながら前に進むかっこいいしらせのパネルもいただきました。また、南半球にしかないペンギンのお話もあり、大きな皇帝ペンギンのことも知りました。

「南極の氷」を水に入れると口では言い表せない氷のささやきのような音がして、何千年何万年も昔の大気が出てくる！ご家庭でも楽しんでみてください。

切断作業をお世話になった水口様、本当にありがとうございました。

お迎えにこられたおばあちゃんに、

「しらせは、氷を砕きながら前に進むんだよ。」

と、しっかり聞いたことを伝えている水組園児の声が聞こえました。

海上自衛隊の皆様、素敵な時間、素敵な体験をありがとうございました。

